

I 第3週の発生動向 (2016/1/18~2016/1/24)

1. インフルエンザについては、東地方+青森市保健所、弘前保健所、五所川原保健所管内で**注意報**が発令されました。また、八戸保健所管内で第2週から**注意報**が続いています。
2. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で第1週から**警報**が続いています。
3. 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で**注意報**が解除されました。

II 第3週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
	小児科 内科	266	20.46	194	12.93	396	26.40	84	12.00	89	9.89	40	6.67	1,069		16.45
小児科	RSウイルス感染症	1	0.13	4	0.44			3	0.60	1	0.17			9	0.21	-4
	咽頭結膜熱	1	0.13	1	0.11	16	1.60	1	0.20	1	0.17			20	0.48	14
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.25	15	1.67	20	2.00	1	0.20	5	0.83	1	0.25	52	1.24	-12
	感染性胃腸炎	35	4.38	21	2.33	38	3.80	11	2.20	17	2.83	16	4.00	138	3.29	5
	水痘	6	0.75			5	0.50			5	0.83			16	0.38	9
	手足口病															0
	伝染性紅斑	6	0.75					1	0.20	2	0.33	16	4.00	25	0.60	-1
	突発性発しん	4	0.50	7	0.78	7	0.70	1	0.20	1	0.17	1	0.25	21	0.50	8
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ					1	0.10							1	0.02	1
流行性耳下腺炎	21	2.63											21	0.50	-10	
眼科															0	
急性出血性結膜炎															0	
流行性角結膜炎	3	1.50			3	1.50							6	0.55	2	
基幹															0	
クラミジア肺炎															-2	
細菌性髄膜炎															2	
マイコプラズマ肺炎					3	3.00					2	2.00	5	0.83	0	
無菌性髄膜炎															0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									1	1.00			1	0.17	1	

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市1人、弘前2人、八戸2人、五所川原1人、上十三1人 (2016年計:18人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患): 弘前1人 (2016年計:3人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患): 東地方+青森市1人 (2016年計:1人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

E型肝炎 (四類全数把握疾患)

E型肝炎は、E型肝炎ウイルス(hepatitis E virus、以下「HEV」という。)の感染によって引き起こされる急性肝炎です。HEVはアジアにおける流行性肝炎の重要な病因ウイルスです。日本では、イノシシの生レバーの摂食や野生のシカ肉の生食などにより発症した事例が報告されており、近年日本で報告されるようになった海外渡航歴の無いE型肝炎の散发発生例のうち、一部は動物由来感染です。

感染経路は経口感染であり、HEVに汚染された食物、水等の摂取により感染することが多いとされています。平均6週間の潜伏期の後、発熱、悪心・腹痛等の消化器症状、肝腫大、肝機能の悪化が現れ、高率に黄疸を伴います。予後は慢性化せず致死率は1~2%ですが、これはA型肝炎に比べ10倍の致死率です。

なお、妊婦が妊娠晩期に感染すると劇症化しやすく、致死率が20%に達することがあります。また、高齢者ほど重症化しやすいとされています。

過去5年間の全国及び青森県における報告数の推移は表のとおりです。全国的に年々報告数が増加しています。青森県では0人~3人の報告で推移していましたが、2016年は第1週に2人の報告があり注意が必要です。

E型肝炎の治療方法は、現在のところ急性期の対症療法しかありません。予防方法としては、手洗い、飲食物の加熱が重要です。動物の内臓、特に豚レバーを食べる際には、中心部まで火が通るよう十分に加熱することが重要です。食べる前の調理の段階でも、皮膚の傷からウイルスが体内へ入ることのないよう注意してください。また、汚染地域と考えられる地域に旅行する場合は、飲料水、食物に注意し、基本的には加熱したもののみを摂取するよう心がけてください。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

表: 報告数の推移
(2011年~2015年)

	全国(人)	青森県(人)
2011年	61	0
2012年	121	1
2013年	127	3
2014年	154	2
2015年	212	0

V 県内インフルエンザ情報

第3週の患者報告数は、1069人で、迅速診断キットによる型別はA型1024人、B型25人、不明20人でした。

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

保健所管内別届出人数 (人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3
保健所名											
東地方					2					4	2
弘前			1			1	8	9	32	62	194
八戸							2	3	37	217	396
五所川原								6	14	38	84
上十三		1			1			1	16	35	89
むつ						2	11	2	6	24	40
青森市					1	5	23	14	37	83	264
合計	0	1	1	0	4	8	44	35	142	463	1069

A型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3
保健所名											
東地方					1					4	2
弘前			1			1	8	9	32	61	193
八戸							2	3	34	215	377
五所川原								6	14	37	84
上十三		1			1			1	14	34	80
むつ						2	11	2	6	22	36
青森市					1	5	23	12	37	82	252
合計	0	1	1	0	3	8	44	33	137	455	1024

B型 (迅速診断キットによる型別です)(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3
保健所名											
東地方					1						
弘前										1	1
八戸									3		6
五所川原											
上十三									2	1	8
むつ										2	4
青森市								2		1	6
合計	0	0	0	0	1	0	0	2	5	5	25

年齢区分別(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3
～5ヶ月											3
～11ヶ月									4	7	13
1歳							1	2	5	23	47
2歳							1	4	3	16	47
3歳							1	1	1	17	50
4歳								1	8	25	63
5歳							1	2	5	23	76
6歳							1	1	3	29	70
7歳					1	2	6	1		13	72
8歳							4	1	3	14	66
9歳						1	3		2	7	58
10～14歳					2		4	1	4	29	99
15～19歳					1	4	11	3	9	18	42
20～29歳							1	2	10	35	39
30～39歳		1					3	6	20	47	68
40～49歳						1	4	3	18	60	92
50～59歳							2	2	22	45	65
60～69歳							1	3	18	32	58
70～79歳			1					1	5	14	27
80歳以上								1	2	9	14

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第46週～2016年第3週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
46	H27.11.9 ~ H27.11.15	劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人	侵襲性インフルエンザ 菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌 感染症1人				
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人					
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			播種性クリプトコックス 症1人			
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	後天性免疫不全 症候群1人 侵襲性肺炎球菌 感染症1人 梅毒1人					
50	H27.12.7 ~ H27.12.13		侵襲性肺炎球菌 感染症1人			カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人	
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人	レジオネラ症1人				
52	H27.12.21 ~ H27.12.27		水痘(入院例)1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人	アメーバ赤痢1人		
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		レジオネラ症1人				
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人			水痘(入院例)1人	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17			レジオネラ症1人			
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	劇症型溶血性レンサ 球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症1人				

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第46週～2016年第3週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
46	H27.11.9 ~ H27.11.15		1	1			1
47	H27.11.16 ~ H27.11.22	2	2	1			
48	H27.11.23 ~ H27.11.29			3		1	1
49	H27.11.30 ~ H27.12.6	1	1	1	1	1	
50	H27.12.7 ~ H27.12.13	2					
51	H27.12.14 ~ H27.12.20	2	4	3			1
52	H27.12.21 ~ H27.12.27	2	6	5			
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		1			1	
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2				1	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17	3	1	1	1	2	
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	1	2	2	1	1	

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週累計)

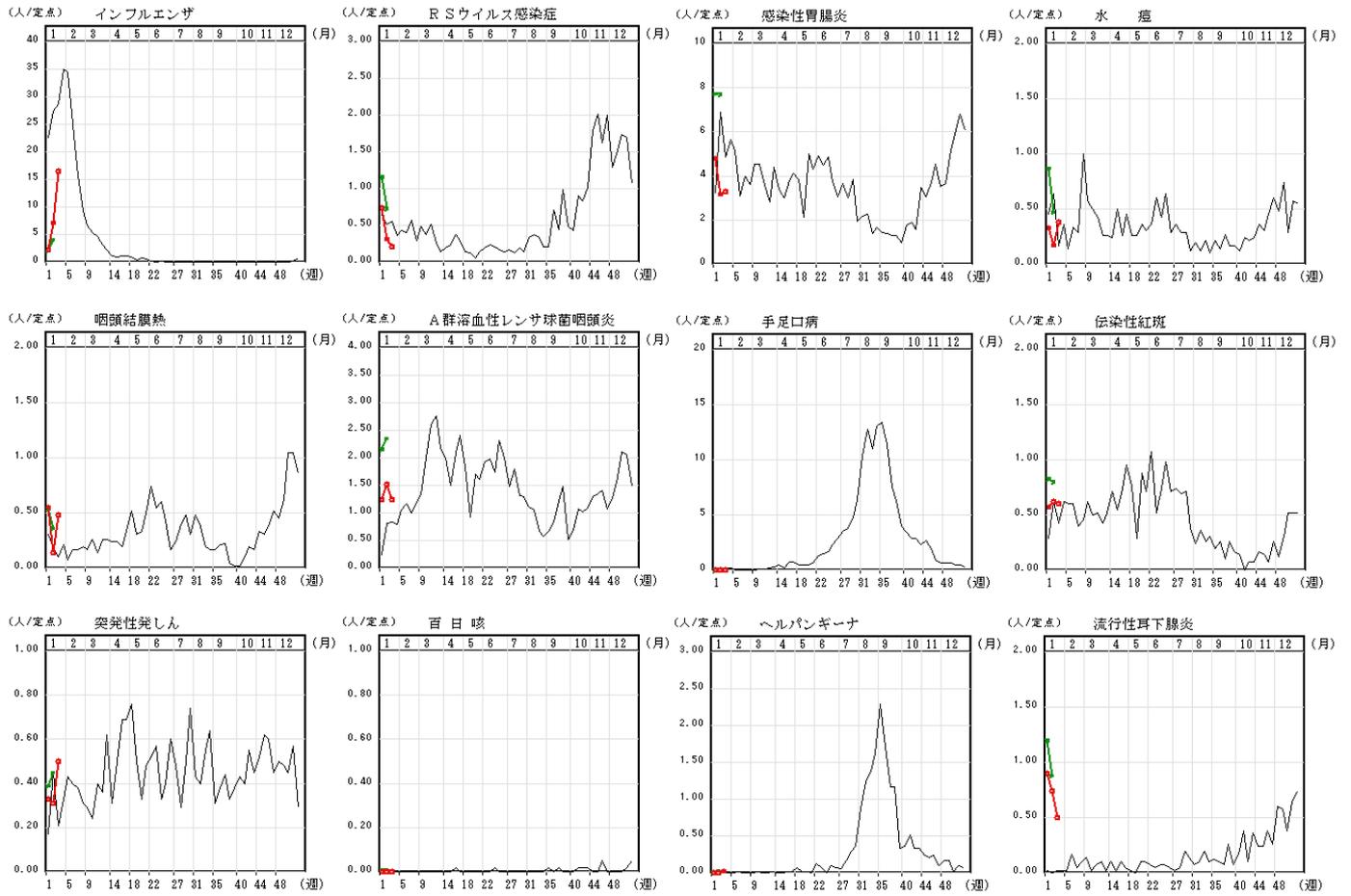
分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸 菌感染症	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	つが虫病	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝 炎	カルバペネム 耐性腸内細菌 感染症	急性脳炎	クロイツフェルト ヤコブ病	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	後天性免疫不 全症候群	ジアルジア症	侵襲性イン フルエンザ感 染症	侵襲性髄膜炎 菌感染症	侵襲性肺炎球 菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	310	2	10	1	9	2	8	9	1	14	12	4	15	7	2	7	18	1	5	1	58	6	38
分類	五類	五類	五類	五類																			
疾病名	播種性クリプト コックス症	バンコマイ シン耐性腸球 菌感染症	風しん	麻しん																			
累積報告数	3	2	3	2																			

青森県 (2016年第1週～第3週累計)

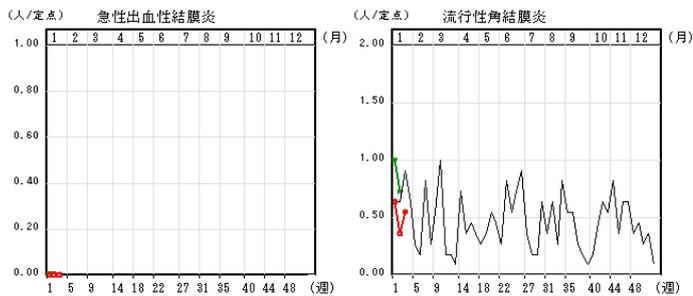
分類	二類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	E型肝炎	レジオネラ症	カルバペネム 耐性腸内細菌 科細菌感染症	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	水痘(入院例)
累積報告数	18	2	1	3	1	1

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第3週、但し全国は前週)

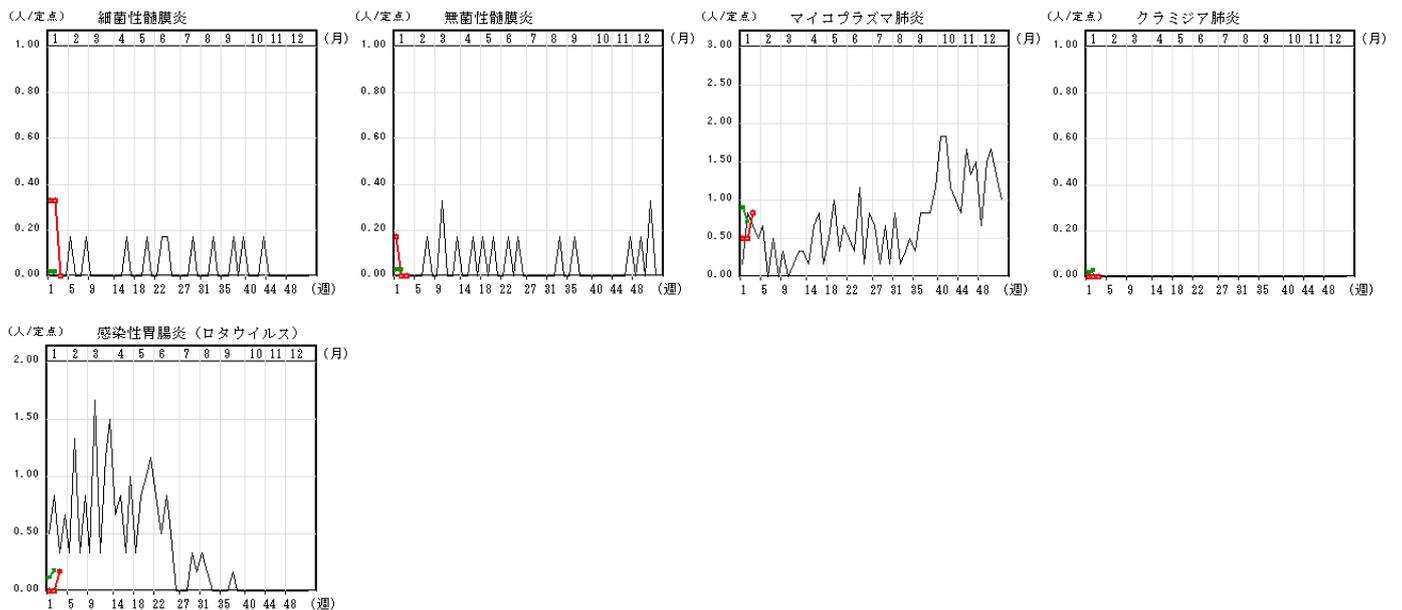
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第3週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第3週、但し全国は前週)



XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第3週は報告がありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月			計 (施設別)
		1週	2週	3週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0
障害関係施設	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0